

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 全身麻酔前後の自律神経機能 炎症反応が手術中、術後の循環動態に及ぼす影響』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋病院

研究責任者 麻酔科 職位・氏名 教授・小竹良文

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院麻酔科では、2017年12月～2020年3月の間に全身麻酔を受けられる患者さんを対象として手術によって生じる自律神経機能の変化と炎症反応が手術中、手術後の血圧などの循環機能に及ぼす影響を解明することを目的とした研究を行い、肝臓、膵臓に関する開腹手術をうけ、手術後に集中治療室で治療を受けられた38名の患者さんのご協力を得て、情報を集めさせていただきました。この研究の成果は専門学会で発表を済ませましたが、最近この領域において新しい知見が報告され、これまでに集めた情報を別の観点から見直すことによって、さらに医学的に意義のある所見が見つかる可能性があることが明らかになってきました。本研究では同意を頂いて手術室で収集し、保管してある情報と集中治療室での手術後の血圧、検査結果などを統合し、新たな観点で解析することを目的としています。

この研究で得られる成果は、手術によって生じるストレス反応が血圧や心機能に及ぼす影響をより詳細に明らかにすることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2017年12月～2020年3月までに東邦大学医療センター大橋病院麻酔科において、予定時間6時間以上の開腹手術をうけ、臨床研究「全身麻酔中の循環・輸液管理が自律神経機能に及ぼす影響の解析」に参加することをご同意頂いた方。尚、この既存の研究についても2017年11月25日に東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認をうけており、研究参加に関しては麻酔科術前外来で担当者からご説明させていただき、ご同意を書面で頂いております。

方 法:臨床研究「全身麻酔中の循環・輸液管理が自律神経機能に及ぼす影響の解析」の際に収集したデータと手術後集中治療室での血圧データ、検査結果を診療録から抽出し、統合して解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:試料は用いません

情報:年齢、体重、病歴などの情報、臨床研究「全身麻酔中の循環・輸液管理が自律神経機能に及ぼす影響の解析」で取得した手術中の循環動態、自律神経機能および血液検体を分析して得られた炎症反応の指標。術後集中治療室における血圧データ、検査結果。

【外部への試料・情報の提供】

外部への資料・情報の提供は行いません

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院麻酔科 研究代表医師:小竹良文 役職:教授

研究分担者として東邦大学医療センター大橋病院麻酔科の助教 2 名、助教(任期)3 名が参加します。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。患者さんのご家族からの申し出も受け付けます。承諾されない場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科

職位・氏名 教授・小竹良文

電話 03-3468-1251 内線 3536